

適期栽培管理のための小麦「ゆめかおり」の生育ステージ予測法

農業総合センター農業研究所

【研究の概要】

麦類の栽培においては、追肥や病害虫防除等の栽培管理を適期に進めるために、生育ステージを予測することが重要です。しかし、実需者ニーズの高いパン用小麦品種「ゆめかおり」では予測手法が確立されていませんでした。そこで、播種期以降の気温・日長のデータから出芽期・茎立期・出穂期・成熟期を予測する手法を開発しました。

【研究内容】

○生育ステージ予測式の作成

発育速度 (DVR) から生育ステージを予測するモデルを用いて予測式を作成しました。予測式の係数は、水戸における平成 16～29 年、龍ヶ崎における平成 20～29 年の気象及び生育データを用い、「多項式・関数式 DVR の計算表示プログラム」(農研機構職務作成プログラム登録番号(機構-L02))により決定しました。



【研究成果】

作成した予測式によって、各生育ステージを予測することができます。播種期以降の気温を入力するだけで予測結果が得られるよう Excel ファイルに予測式を組み込みました。

生育ステージ予測用ファイルの画面イメージ

ファイルは農業研究所ホームページ※ に公開されており、生育ステージを簡単に予測できます。予測誤差は 2～5 日程度です。

※ 農業研究所ホームページアドレス : <http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/right.html>

【将来の展望】

この予測式は、追肥・麦踏み・赤かび病防除等の作業計画作成に活用でき、「ゆめかおり」の高品質安定多収に貢献することが期待されます。